

○令和7年度白井市学校教育「なしビジョン」
 みんなで育てる”しろいのなし” ~7つの取り組み・4つの育み~
 育み：①確かな学力 ②豊かな心
 ③健やかな体 ④持続可能な社会の創り手
 取り組み：①「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり
 ②生徒指導における「不登校」「いじめ」への対応の充実
 ③豊かな人間関係を育む学級づくり
 ④ICTの有効活用+学校DX
 ⑤特別支援学級における子ども主体の授業づくり
 ⑥「体力」「活力」を高める体育活動
 ⑦自他の命を大切にす健康・安全教育

○学校の状況（令和7年4月7日）

生徒数

	1年	2年	3年	計
男	66	73	95	234
女	55	61	66	182
計	121	134	161	416

【生徒会スローガン】 南中 NHKプロジェクト
 N…にげるな勉強 H…はじける挨拶 K…きれいな学校

○生徒指導面からの学校教育目標へのアプローチ

- 生徒指導としての機能を生かした授業展開
 - 「共感的人間関係」を基盤に「自己決定の場」を与え、「自己存在感」を育むことに高い意識をもった授業を展開し「自己指導能力」の育成を図る。
- 学級経営を生徒指導の基盤に
 - リーダー、フォロワーとなる生徒の育成による学級経営
- 生徒会活動の充実
 - 委員会活動を中心とした自主的な生活
 - 行事等を通じた計画的な集団と個の成長
- 生徒指導の研究推進
 - 生徒指導の現状についての反省、研究、研修
- 非行・長欠・不登校・いじめ対策の確立
 - 問題傾向の早期発見
 - 適切な診断に基づいた指導
 - 学校いじめ防止基本方針に沿った指導
 - 校内教育支援センター「なのはな」の効果的運営
- 学校外の機関との協力・連携
 - 家庭、地域社会、社会教育機関、警察との密接な協力・連携
- 教育相談活動の充実
 - 定期的教育相談活動の設定
 - 日常生活における観察・受容・相談（生活ノートの活用）
- 学年間の連携
 - 生徒指導部を中心とした各学年間の連絡・調整及び推進
 - 職員の共通行動、学校体制の確立

令和7年度 南山中グランドデザイン



郵便番号： 270-1423
 所在地： 白井市南山1-6-1
 電話： 047-492-1441
 FAX： 047-492-3017

学校教育目標 **新しい時代を切り拓く生徒**

○令和7年度の重点目標

Action 前に踏み出す力（主体性、働きかけ力、実行力、根気強さ）
 Collaboration 協働する力（表現力、コミュニケーション力、規範意識、想像力）
 Thinking 考え抜く力（課題発見力、創造力、計画力、検証力）

○めざす生徒像、教師像 ※学年目標

1学年 自分から、自分で ~新しい時代を切り拓くための土台作り~
 2学年 自立 目配り 気配り
 3学年 協力同心 ~気づき、考え、判断し、行動する~

職員 子供を愛し、情熱と使命感をもった教師
 常に自己を磨き、支え合う教師

○特別活動面からの教育目標へのアプローチ

★目標：自己理解を通して、目標の実現や集団生活の向上に努めさせる

1年次：自分の役割を理解し、主体的にその責任を果たす **(前に踏み出す力)**
 2年次：同じ役割をもつ生徒同士のチームの力を高め、より良い内容を発信する **(考え抜く力)**
 3年次：多様な考えをもつ生徒同士のチームの力を結集して、新しい価値を生み出す **(協働する力)**

○道徳面からの教育目標へのアプローチ

★目標 (1) 思いやりの心もち、互いに励まし高め合う生徒を育てる
 (2) 役割に主体性と責任をもち最後までやり抜く生徒を育てる
 (3) 高い目標を目指し、意欲的、主体的に生きる生徒を育てる
 (4) 健康・安全に留意した生活を心がけさせる
 (5) 自己を理解し、適切な進路を選択する能力を育てる

○総合的な学習の時間からの学校教育目標へのアプローチ

★目標 (1) 自分が人や地域とともに生きていることを意識できる
 (2) 探究活動に進んで取り組む能力と態度を身につける
 (3) 自己を見つめ生き方を考える

第1学年：校外学習 キャリア教育（キャリア倶楽部）
 第2学年：自然教室 キャリア教育（職業学習） 立志の会
 第3学年：修学旅行 キャリア教育（進路先訪問等） 進路の実現

白井市
 スクール
 サミット

○学習面からの教育目標へのアプローチ

【研究主題】「協働的な学び」を通して、生徒一人一人が
 考え抜いたことを、適切に表現できる指導の工夫
 ~「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して~

[研究仮説]

- 学習形態を工夫し、ペアやグループでの学習を積極的に取り入れたり、効果的にICTを活用したりすれば協働的な学習が進み、より深く考え抜く指導ができるであろう。
- 生徒の学習をしっかりと見て適切に評価すれば、一人一人が「わかった！」と実感し、主体的に学習に取り組める指導ができるであろう。
- 協働しないと解決が難しい学習課題を提示し、自分の言葉でまとめを行えば、考え抜く力や表現力が育つ指導ができるであろう。

[学習指導の留意点]

- ペアやグループでの学習活動を積極的に推進する。
- 正しい学習環境をつくり、正しい学習姿勢を励行する。
- 年度当初に学習規律を徹底する。
- 調べ学習、意見の集約、プレゼンテーション等でICTを積極的に活用する。
- 板書の充実（板書とスクリーンの使い分け）
- 学習課題を疑問形にし、協働的に取り組まねば解決のできないものを計画的に取り入れる。
- まとめを80文字程度の文章で記述させる。
- 学習に対する評価規準を設定し、それに照らし合わせながら学習指導を行う。
- 自主的な家庭学習を促し、適切な評価をすることにより、学習習慣を確立する。

[研修の充実]

- 北総教育事務所による指導室訪問や要請訪問にて、授業研修を行う。
- 白井市学校支援アドバイザーによる指導を受ける。
- ICT支援員からICTの効果的な活用方法を習熟する。
- 白井市STL'sによる校内でのOJT研修を行う。
- 中堅職員から若手の職員への指導、支援を活性化させる。
- 校内での相互授業参観期間を設ける。
- 評価制度の十分な理解と適切な運用を行う。